

2009年若手研究者奨励セミナー開催プログラム

11月25日（水）

10:30～10:35	館長挨拶
10:35～10:40	趣旨説明
みんなく教員講演① 司会：信田敏宏（研究戦略センター・准教授）	
10:40～11:55	岸上伸啓（先端人類科学研究部・教授） 「開発と先住民：アラスカ・イスピアックの先住民生存捕鯨を中心に」
11:55～12:45	休憩
セッション① 司会：三田 牧（先端人類科学研究部・機関研究員）	
12:45～13:25	澤野美智子（神戸大学大学院国際文化研究科・博士後期課程） 「＜生活に埋め込まれた＞開発現象－韓国における誕生日の陽暦化」
13:25～14:05	浅野史代（名古屋大学大学院文学研究科・博士研究員） 「慣習とのはざまで－ローカル女性NGOの選択」
14:05～14:15	休憩
セッション② 司会：岩佐光広（研究戦略センター・機関研究員）	
14:15～14:55	高野さやか（東京大学大学院総合文化研究科・博士後期課程） 「法人類学からみる法整備支援－インドネシアにおけるADR（裁判外紛争処理）の受容」
14:55～15:35	安田章人（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科・研究員） 「スポーツハンティングによる野生動物資源開発と地域住民－カメルーン共和国ベヌエ国立公園地域を事例として－」
15:35～16:00	総合討論
16:00～16:10	休憩
16:10～17:00	本館の施設見学（図書案内、常設展、企画展、特別展）

11月26日（木）

10:00～12:00	本館の施設見学（図書案内、常設展、企画展、特別展）および「カムイノミ」参加
12:00～13:00	休憩
セッション③ 司会：三田牧（先端人類科学研究部・機関研究員）	
13:00～13:40	笠井賢紀（慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科・博士後期課程） 「事例から読み解くアリンスキー型コミュニティ開発の可能性と課題」
13:40～14:20	松村直樹（（独）国際協力機構南アジア部・専門調査員） 「開発援助における「安全な水」概念をめぐる～バングラデシュ砒素汚染対策支援の事例から～」
14:20～14:40	休憩
セッション④ 司会：川口幸大（研究戦略センター・機関研究員）	

14 : 40～15 : 20	陶冶（法政大学国際文化学部・中国人客員研究員） 国立民族学博物館50年史アーカイブズ 「観光開発と「民族文化」－中国南西部貴州省雷山県ミャオ族の「苗年」（お正月）をめぐって－」
15 : 20～16 : 00	石坂貴美（東京大学大学院総合文化研究科・博士後期課程） 「国際開発におけるマイクロクレジットをめぐる議論の検討」
16 : 00～16 : 40	水谷裕佳（北海道大学社会科学実験研究センター・博士研究員） 「先住民と都市開発：アリゾナ州の都市化とパスクア・ヤキを事例として」
16 : 40～17 : 00	休憩
17 : 00～17 : 30	総合討論
18 : 00～	懇親会

11月27日（金）

みんなく教員講演② 司会：信田敏宏（研究戦略センター・准教授）

10 : 45～12 : 00	鈴木紀（先端人類科学研究部・准教授） 「文化批判としての開発研究：なにを、だれに、どう語るか」
12 : 00～13 : 00	休憩
113 : 00～13 : 40	本館の施設見学（図書室案内、常設展、企画展、特別展）

セッション⑤ 司会：内藤直樹（研究戦略センター・機関研究員）

13 : 00～13 : 40	斯琴（千葉大学大学院社会文化科学研究科・博士課程） 「西モンゴルの現代社会生活にみるトゥーリ（叙事詩）の語り－モンゴル国アルタイ山脈のモンゴル系諸集団における調査を通じて－」
13 : 40～14 : 20	田中雅子（日本福祉大学大学院国際社会開発研究科・博士後期課程） 「社会的包摂のための援助とは？：援助機関、現地NGO、当事者団体のパートナーシップの批判的検討」
14 : 20～15 : 00	市野澤潤平（東京大学大学院総合文化研究科・博士後期課程） 「もうひとつの災害：2004年インド洋津波後のプーケットにおける風評災害」
15 : 00～15 : 20	休憩
15 : 20～15 : 50	総合討論
15 : 50～16 : 40	アンケート記入および施設見学（＊教員による審議）
16 : 40～17 : 00	閉会式および表彰式

平成22年度みんぱく若手研究者奨励セミナー 「国境を越える市民社会と人類学」

国立民族学博物館研究戦略センター
<http://www.minpaku.ac.jp/research/crd/>

人やモノの関係が流動化した今日の世界において、『国境を越える市民社会』と呼びうる非公式の組織による国際的なネットワークが構築されつつある。その主要なアクターは、マイフリティの権利主張をめぐる組織や運動体、人権問題や人間の安全保障などにかかわるNGOやNPO、地域紛争の当事者、宗教ネットワークなどである。これらの諸アクターは、21世紀の人類学において看過できない事象を世界各地のさまざまなフィールドで構築している。今回のセミナーでは、そうした国際的なネットワークによる運動や実践、あるいはそれらをめぐる地域社会の葛藤や紛争に焦点をあてた研究を募集し、新たな市民社会が構築されるなかで人類学が可能なアプローチについて検討する。

日時： 2010年11月24日（水）－26日（金）
場所： 国立民族学博物館 2F 第4セミナー室

プログラム

11月24日（水）

館長挨拶 10:30～10:40 須藤健一（国立民族学博物館・館長）
趣旨説明 10:40～10:50 信田敏宏（国立民族学博物館・准教授）

みんぱく教員講演① 10:50～11:50

宇田川妙子（国立民族学博物館・准教授）

「イタリアの『第三セクター』現象－『市民社会』の人類学的考察の試み－」

みんぱく教員講演② 13:00～14:00

信田敏宏（国立民族学博物館・准教授）

「先住民運動のエスノグラフィー－オラン・アスリのフィールドワークから－」

◇セッション① 14:10～15:40

司会：内藤直樹（国立民族学博物館・機関研究員）

神原ゆうこ（東京大学・博士後期課程）

「ローカルな政治の場所における市民社会のずれと再想像－スロヴァキア西部国境地域を事例として－」

高橋絵里香（日本学術振興会・特別研究員（PD））

「『在宅』の思想－フィンランド西南部の地域福祉にみる『社会』の重層性について－」

◇セッション② 15:50～18:05

司会：小川さやか（国立民族学博物館・機関研究員）

玉柳蘭（日本学術振興会・特別研究員（RPD））

「クロスボーダーにおける共生の模索－北タイにおける雲南系ムスリムのネットワークの構築から－」

足立綾（東京大学・博士後期課程）

「現代フランス社会における＜ピエ・ノワール＞」

岩崎明子（東京大学・研究生）

「ドイツ領東アフリカにおけるマジマジの乱と人類学－ドイツ植民地支配からイギリス植民地支配へ－」

総合討論 18:10～18:30

懇親会 18:30～

11月25日 (木)

みんなく施設見学 9:00～11:30

野林厚志 (国立民族学博物館・准教授)

図書室・収蔵庫等の利用案内

カムイノミ見学

◇セッション③ 12:30～14:00

司会：岩佐光広 (国立民族学博物館・機関研究員)

箕曲在弘 (早稲田大学・博士課程)

「ラオス南部におけるフェアトレード生産協同組合の社会関係に関する一考察」

岩間春芽 (京都大学・博士課程)

「ネパール北西部農村における仕事と貧困-貧困言説の広まりによる変化-」

◇セッション④ 14:10～15:40

司会：藤本透子 (国立民族学博物館・機関研究員)

根本達 (筑波大学・准研究員)

「排他的共同体に對面関係の網の目を紡ぎ合わせる

-『不可触民』解放運動とともに生きる現代インド仏教徒たちの技法-

平野邦輔 (東京大学・博士課程)

「グローバルな市民社会における『自分探し』-日本人男性同性愛者の北米への移動を例として-

◇セッション⑤ 15:50～18:05

司会：内藤直樹 (国立民族学博物館・機関研究員)

玉山ともよ (総合研究大学院大学・博士課程)

「先住民族『聖地』開発をめぐる攻防-米国ニューメキシコ州テラー山におけるウラン鉱山開発の事例考察-

松岡格 (早稲田大学・次席研究員)

「地方化・単純化と台湾原住民社会」

友永雄吾 (日本学術振興会・特別研究員 (PD))

「オーストラリア南東部の先住民ヨルタ・ヨルタの環境管理のための先住民運動」

総合討論 18:10～18:40

11月26日 (金)

みんなく施設利用 9:00～10:30

◇セッション⑥ 10:30～12:00

司会：小川さやか (国立民族学博物館・機関研究員)

田中理恵子 (東京大学・博士課程)

「国境を越える音楽が生み出す差異は何を示すのか？」

-米国オアフ島における韓国系コミュニティを中心として形成される演奏共同体-

青木深 (・橋大学・特任講師)

「『進駐軍ソング』をときほぐす-歌とエキゾチシズムをめぐる歴史人類学-

◇セッション⑦ 13:00～14:30

司会：岩佐光広 (国立民族学博物館・機関研究員)

渡辺紀子 (東京外国語大学・フェロー)

「見えない他者と出会う・交わる-グローバル化する都市における祝祭の考察-

西垣有 (大阪大学・博士後期課程)

「コミュニティと公共性-モンゴルにおける市民参加型NGOの活動から-

総合討論 14:40～15:10

アンケート記入およびみんなく施設利用 15:10～16:30

講評・表彰・閉会挨拶 16:30～17:00

森明子 (国立民族学博物館・研究戦略センター長)

問い合わせ先：国立民族学博物館 研究協力課

TEL: 06-6878-8241・8208

メール: kenkyoka@idc.minpaku.ac.jp

開催趣旨

国立民族学博物館では、若手研究者による本研究機関の共同利用を促進するため、「みんなく若手研究者奨励セミナー」を開催しています。平成23年度のセミナーは、本館の機関研究「マテリアリティの人間学」に関連するテーマを募集しました。

「マテリアリティの人間学」では、グローバリ化が進む状況におけるモノと人との関係を人類学を核としつつ学際的に再検討し、新しい人間観を構築することを目指しています。またモノと人との関係を、産業化や都市化、越境化などの脈絡で問い直すとともに、その動態を歴史的な視点から究明することを目指しています。具体的には、モノの物神化、モノの収集と所有、科学技術と人間の関係などが主要な研究テーマとなります。本セミナーでは、現代において多様な形態をとりつつある人間とモノとの関係に対する新たなアプローチを模索します。

2011年若手研究者奨励セミナー開催プログラム

11月30日（水）

13:30~13:45	館長挨拶 須藤健一（国立民族学博物館・館長）
13:45~14:00	趣旨説明 信田敏宏（国立民族学博物館・准教授）
みんなく教員講演 司会：信田敏宏（国立民族学博物館・准教授）	
14:00~15:15	講演（1） 竹沢尚一郎（国立民族学博物館・教授） 「ホモファーベルとホモソキウスのあいだ」
15:30~16:45	講演（2） 関本照夫（国立民族学博物館・教授） 「モノを作る、モノが出来る—くマテリアリティへへの試論」
16:45~17:15	総合討論

12月1日（木）

セッション（1） 司会：相島葉月（国立民族学博物館・機関研究員）

10:00~12:15	丹羽朋子（東京大学・博士課程） 「剪纸は女の心の歌—形象化を支える物質性と時間」 新本万里子（広島大学・研究員） 「生理用品と女性の身体—パプアニューギニアにおける月経期間の過ごし方から」 吉田ゆか子（筑波大学・博士課程） 「レプリカの仮面のゆくえ—バリ島天女の舞の事例から」
-------------	---

セッション（2） 司会：藤本透子（国立民族学博物館・機関研究員）

13:15~14:45	和気尚美（筑波大学・博士課程） 「移民の統合をめぐる社会空間としての公共図書館—デンマークに滞在するムスリム移民を対象とし」 上杉健志（McGill大学・博士課程） 「オレンジ剤と毒」
-------------	---

セッション（3） 司会：河合洋尚（国立民族学博物館・機関研究員）

15:00~17:15	土井清美（東京大学・博士課程） 国立民族学博物館50年史アーカイブズ 「サンティアゴ徒歩巡礼にみる身体移動・記憶・ランドマークー「文化遺産」とツーリズムをめぐる議論に向けて」 越智郁乃（広島大学・特別研究員） 「墓のエージェンシーに照射される死生観ー現代沖縄都市部における墓を事例に」 中村真里絵（国立民族学博物館・外来研究員） 「土器がつくる地域社会ータイ東北部ダーン・クウィアの事例から」 懇親会
-------------	--

12月2日（金）

セッション（4）司会：司会：小川さやか（国立民族学博物館・機関研究員）

10:00~12:15	陳景揚 「日本における「民芸」消費者のモノとの関わりに関する人類学的研究ー欧米の「DIY」消費者との比較対照から」 生駒美樹（東京外国語大学・博士課程） 「変化する茶のマテリアリティーミャンマー、シャン州ナムサン郡の茶生産、流通を事例として」 齋藤理恵（早稲田大学・博士課程） 「ビデオを巡る映像人類学の探究」
13:15~14:45	総合討論 司会：信田敏宏（国立民族学博物館・准教授）
14:45~16:45	みんなく施設見学およびアンケート記入
16:45~17:30	講評・表彰・閉会挨拶

2012年若手研究者奨励セミナー開催プログラム

11月28日（水）

10:30～10:45	館長挨拶 須藤健一（国立民族学博物館長）
10:45～11:00	趣旨説明と講演者紹介 平井京之介（国立民族学博物館准教授）

機関研究説明会 司会：平井京之介

11:00～11:20	鈴木紀（国立民族学博物館准教授） 「支援の人類学——グローバルな互恵性の構築に向けて」
11:20～11:40	鈴木七美（国立民族学博物館教授） 「ケアと育みの人類学」
11:40～12:00	齋藤晃（国立民族学博物館准教授） 「近代ヒスパニック世界における国家・共同体・アイデンティティ——スペイン領アメリカの集住政策の研究」

◇セッション1 司会：平井京之介

13:00～13:50	河野明佳（津田塾大学博士課程院生） 「南アフリカにおける分断統治とアフリカ人の主体的な民族意識の表明——クロムドゥライ住民にとつての『ソト人であること』」
13:50～14:40	井本佐保里（東京大学博士課程院生） 「ナイロビ・スラムの『学校』——場の自律性と地域との関係」

◇セッション2 司会：藤本透子（国立民族学博物館機関研究員）

15:00～15:50	鈴木佑記（日本学術振興会特別研究員／早稲田大学） 「区切られる空間、つながる場所——タイ海洋国立公園におけるモーケンの潜水漁の動態」
15:50～16:40	日野智豪（上智大学アジア文化研究所共同研究員） 「ハイブリッドからモノカルチャーへ——タイ北部農村社会におけるHIV/AIDS感染者組織の生成と転回」
16:40～17:30	久保忠行（日本学術振興会特別研究員／京都大学） 「難民から市民へ——ビルマ難民の移動と定住」

11月29日（木）

◇セッション3 司会：平井京之介

10：00～10：50	兼松芽永（一橋大学博士課程院生） 「『循環する場所』としての枯木又——エコミュージアムとノから大地の芸術祭へ」
10：50～11：20	「カムイノミ」見学
11：20～12：10	渡部鮎美（国立歴史民俗博物館研究支援員） 「過疎・高齢化地域における社会的選択としての複数居住」

◇セッション4 司会：河合洋尚（国立民族学博物館機関研究員）

13：10～14：00	櫻田涼子（京都大学GCOE研究員） 「空間から場所へ——マレーシアの住宅団地における華人コミュニティ構築の事例から」
14：00～14：50	小林宏至（首都大学東京博士課程院生） 「グローバルメディアと民俗知識」

◇セッション5 司会：加賀谷真梨（国立民族学博物館機関研究員）

15：10～16：00	奈良雅史（筑波大学博士課程院生） 「ポリティクスをしないことによる『自律性』——中国雲南省昆明市回族社会のインフォーマルな宗教活動の事例から」
16：00～16：50	上村淳志 「内からの包摂を維持する試み——メキシコにおける性的少数者の教会の包摂と自律」

11月30日（金）

10：30～12：00	総合討論 司会：平井京之介
13：00～16：30	共同利用制度と施設の紹介、アンケートの記入
16：30～17：00	講評・表彰・閉会挨拶



平成 25 年度みんぱく若手研究者奨励セミナー 「アートを考える——人類学からのアプローチ」

国立民族学博物館では、若手研究者による共同利用を促進するため、「みんぱく若手研究者奨励セミナー」を開催します。当セミナーでは、弊館の機関研究「マテリアリティの人間学」をテーマに、本館教員による発表に続いて、参加者による個人研究発表を行ないます。

日時：2013 年 11 月 20 日（水）～22 日（金）
場所：国立民族学博物館 第 6 セミナー室（2 階）

プログラム

11 月 20 日（水）

開会挨拶 10：00～10：15 久保正敏（国立民族学博物館・副館長）
趣旨説明 10：15～10：30 丹羽典生（国立民族学博物館・准教授）

教員発表 司会：丹羽典生（国立民族学博物館・准教授）

- ① 10：30～11：30 吉田憲司（国立民族学博物館・教授）
「アートと人類学のあいだ」
- ② 11：30～12：30 飯田 卓（国立民族学博物館・准教授）
「くらしに伝わる技の遺産化：マダガスカルの事例より」

◇セッション① 司会：吉田ゆか子（国立民族学博物館・機関研究員）

13：30～14：20 伏木香織（大正大学非常勤講師）
「Heritage の形成——シンガポールの南音に見る人と音の移動が紡ぐ文化遺産としてのパブリック・メモリー」
14：20～15：10 古沢ゆりあ（総合研究大学院大学博士課程）
「フィリピンの聖母崇敬と聖画像の現地化」

◇セッション② 司会：浜田明範（国立民族学博物館・機関研究員）

15：30～16：20 緒方しらべ（総合研究大学院大学博士課程）

「アフリカ美術とつくり手の実践——ナイジェリア地方都市の『アーティスト』の事例から」

16：20～17：10 山越英嗣（早稲田大学博士課程）

「＜伝統＞をメンテナンスする——メキシコ・オアハカ市の芸術家集団 ASARO によるストリートアートを用いた実践」

11月21日（木）

10：30～12：30 「カムイノミ」見学 & 展示場見学

◇セッション③ 司会：山本睦（国立民族学博物館・機関研究員）

13：30～14：20 吉田優貴（東京女子大学非常勤講師）

「『芸術』としてのアートから、『くらしのわざ』としてのアーツへ——我々はなぜ、ケニアの聳の子供のダンスに魅惑されるのか？」

14：20～15：10 左地（野呂）亮子（筑波大学博士特別研究員）

「住まうことのアート——マヌーシュのキャラヴァン居住を事例に」

◇セッション④ 司会：河合洋尚（国立民族学博物館・助教）

15：30～16：20 ヘイリー・マクラーレン（一橋大学博士課程）

「『生きているアート』——彫り物の『アート』とエージェンシー」

16：20～17：10 阿部朋恒（首都大学東京博士課程）

「山地農耕民ハニの服飾をめぐる二つの審美的水準」

11月22日（金）

◇総合討論 10：30～12：00 司会：丹羽典生（国立民族学博物館・准教授）

13：00～16：30 共同利用制度と施設の紹介、アンケートの記入

16：30～17：00 講評・表彰・閉会挨拶



平成 26 年度 若手研究者奨励セミナー プログラム

11 月 26 日(水)

10:00～10:30 挨拶・趣旨説明（司会：菅瀬 晶子）

10:00～10:15 開会挨拶：須藤 健一（国立民族学博物館長）

10:15～10:30 趣旨説明：菅瀬 晶子（国立民族学博物館研究戦略センター助教）

10:30～12:00 展示場見学

12:00～13:00 昼食

13:00～13:30 共同利用制度の紹介

13:30～15:00 施設見学

13:30～14:10 収蔵庫見学

14:10～15:00 図書室および 4 階研究部案内

15:00～15:15 コーヒーブレイク

15:15～16:15 教員発表① 菅瀬 晶子（国立民族学博物館研究戦略センター助教）「聖者崇敬をめぐるムスリムとキリスト教徒、ユダヤ教徒の共存と反発—イスラエル・パレスチナとレバノンの事例」

16:15～17:15 教員発表② 杉本 良男（国立民族学博物館民族文化研究部教授）「南インドにおける津波災害と社会的つながり」

11 月 27 日(木)

9:30～10:20 セッション 1 司会：浜田 明範（国立民族学博物館先端人類科学研究部機関研究員）

9:30～10:20 荒木 亮（首都大学東京大学院人文科学研究科博士後期課程）「スカーフ着用の言説からみる『イスラーム的なもの』と『自律的な信仰』」

10:30～12:00 カムイノミ見学

12:00～13:00 昼食

13:00～15:30 セッション 2 司会：河合 洋尚（国立民族学博物館研究戦略センター助教）

13:00～13:50 伏見 裕子（日本学術振興会特別研究員（PD））「出産をめぐる地域のつながりと船霊信仰—香川県伊吹島を事例として—」

13:50～14:40 松崎 遼子（大阪大学人間科学研究科博士後期課程）「韓国都市部における民間信仰ネットワーク」

14:40～15:30 尾崎（井内）智子（元公益財団法人生活協同総合研究所研究員）「戦時下リベラリズムの軌跡—消費組合運動を事例として—」

15:30～15:45 コーヒーブレイク

15:45～17:25 セッション3 司会：吉田 ゆか子（国立民族学博物館先端人類科学研究部機関研究員）

15:45～16:35 下田 健太郎（慶應義塾大学大学院博士後期課程）「水俣病経験の『翻訳』を通じたネットワークの構築—『本願の会』メンバーのライフヒストリーをめぐる一考察—」

16:35～17:25 深田 淳太郎（一橋大学大学院特別研究員）「遺骨と遺された人々のつながり～ソロモン諸島ガダルカナル島における遺骨収集活動を事例に～」

11月28日(金)

10:00～12:30 セッション4 司会：加賀谷 真梨（国立民族学博物館研究戦略センター機関研究員）

10:00～10:50 岡田 紅理子（上智大学グローバル・スタディーズ研究科地域研究専攻博士後期課程）「『アミらしさ』の維持・強化から『自分らしさ』の確保へ：台北に移住した原住民族アミと都市カトリック共同体」

10:50～11:40 モリ カイネイ（立命館大学大学院先端総合学術研究科一貫性博士課程）「『短期宣教』—華人キリスト者を繋ぐトランスナショナルな宗教実践」

11:40～12:30 宇田川 彩（東京大学総合文化研究科超域文化科学科）「ユダヤ教における言葉と食べ物について：アルゼンチン・ブエノスアイレスでの現地調査を通して」

12:30～13:30 昼食

13:30～15:30 総合討論

15:30～15:45 コーヒーブレイク

15:45～16:15 アンケート記入

16:15～16:45 講評・表彰・閉会

講評 杉本 良男（国立民族学博物館民族文化研究部教授）

竹沢 尚一郎（国立民族学博物館民族文化研究部教授）

菅瀬 晶子（国立民族学博物館研究戦略センター助教）

表彰 須藤 健一（国立民族学博物館長）

閉会挨拶 菅瀬 晶子（国立民族学博物館研究戦略センター助教）

平成 27 年度 若手研究者奨励セミナー プログラム

11 月 11 日(水)

- 9:30～10:00 挨拶・趣旨説明 司会：樫永 真佐夫
- 9:30～9:45 開会挨拶：須藤 健一（国立民族学博物館館長）
- 9:45～10:00 趣旨説明：樫永 真佐夫（国立民族学博物館研究戦略センター准教授）
- 10:00～10:45 教員発表①福岡 正太（国立民族学博物館文化資源研究センター准教授）
「越境する身体知-ガムランの伝承を例に」
- 10:45～11:30 教員発表②広瀬 浩二郎（国立民族学博物館民族文化研究部准教授）
「見えない世界をみる身体知 -平家物語から瞽女唄へ」
- 11:30～12:00 共同利用制度の紹介
施設全体説明：樫永 真佐夫
若手共同利用説明：河合 洋尚（国立民族学博物館研究戦略センター助教）

12:00～13:00 昼食

- 13:00～15:15 セッション 1 司会：八木百合子（国立民族学博物館研究戦略センター機関研究員）
- ①柴田 香奈子（筑波大学大学院人文社会科学研究科博士課程）「厳律シトー修道会における修道院手話＜手まね＞の伝承」
- ②岩瀬 裕子（首都大学東京大学院人文科学研究科博士課程）『身体化としての伝承』と『真正性の水準』に関する一考察-スペイン・カタルーニャ州における『人間の塔』を事例に」
- ③宇津木 安来（東京藝術大学大学院音楽研究科博士課程）「日本舞踊の身体技法としての＜体幹部＞を捉える」

15:15～15:40 コーヒーブレイク

- 15:40～17:10 セッション 2 司会：永田貴聖（国立民族学博物館先端人類学研究部機関研究員）
- ④ケイトリン・コーカー（京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程）「異質の身体における普遍的なもの-舞踏伝承の始まりと現在」
- ⑤平田 晶子（日本学術振興会特別研究院 PD）「東北タイ・モーラム芸能集団の伝承の変容-携帯電話とオンライン・コミュニティを駆使した芸能活動の一考察」

11 月 12 日(木)

- 9:40～10:25 セッション 3 司会：浜田明範（国立民族学博物館先端人類学研究部機関研究員）

⑥紺屋 あかり（京都大学東南アジア研究所連携研究員）「西太平洋パラオの詠唱をめぐる伝承と身体」

10:30～12:00 カムイノミ見学

12:00～13:00 昼食

13:00～14:30 セッション4 司会：永田貴聖

⑦井上 航（京都市立芸術大学大学院音楽研究科博士課程）「Participation 概念の再考ー北東カンボジア山地民クルンの音響的身体から」

⑧谷岡 優子（関西学院大学大学院社会学研究科博士後期課程）「現代の地方花柳界にみる<芸>の再生産ー秋田県川反の花柳界、愛媛県松山市の花柳界を事例に」

14:30～14:45 コーヒーブレイク

14:45～15:30 総合討論

15:30～17:00 施設見学

15:30～16:10 収蔵庫見学

16:10～17:00 図書室および4階研究部案内

17:00～17:20 アンケート記入

17:20～17:40 講評・表彰・閉会

講評

表彰 須藤 健一（国立民族学博物館館長）

閉会挨拶 樫永 真佐夫

平成 28 年度（2016 年）若手研究者奨励セミナー
「人類学的営みにおける映像」プログラム

11 月 30 日（水）

9:30～10:00 挨拶・趣旨説明 司会：南 真木人

9:30～9:45 開会挨拶：須藤健一（国立民族学博物館館長）

9:45～10:00 趣旨説明：南 真木人（研究戦略センター准教授）

10:00～10:50 教員発表① 飯田 卓（先端人類科学研究部准教授）

「時間的文脈と空間的文脈—テキストとイメージの使いわけについて」

10:50～11:40 教員発表② 川瀬 慈（文化資源研究センター助教）

「人類学における映画話法の創造と革新—世界の動向から」

11:40～12:00 共同利用・若手向け諸制度の説明：河合洋尚（研究戦略センター准教授）

12:00～13:00 昼食

13:00～15:15 セッション 1 司会：八木百合子（研究戦略センター機関研究員）

① 高柳ふみ（ベルリン・フンボルト大学大学院ヨーロッパ民族学研究科修士課程）

「民族誌映画『アルムの響き』—オーストリア・チロル州の山間部農業における経験的知識について」

② 村津 蘭（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科博士一貫課程）

「民族誌映画における現実はどうのように作られるのか」

③ 劉^{リュウ} 高力^{カオリ}（京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程）

「パキスタンにおける異色な人の普通の生活」

15:15～15:40 コーヒーブレイク

15:40～17:10 セッション 2 司会：永田貴聖（先端人類科学研究部機関研究員）

④ Dīpesh^{ディベシュ} KHAREL^{カレール}（東京大学大学院情報学環・学際情報学府博士後期課程）

「After Ram Left Home : Visual Ethnography of the Nepali Migration to Japan」

⑤ 後藤一樹（慶應義塾大学大学院社会学研究科後期博士課程、学振特別研究員）

「四国遍路 50 日間の移動と対話の映像民族誌」

12 月 1 日（木）

9:40～10:25 セッション 3 司会：河合洋尚

⑥ 神野知恵（東京藝術大学音楽学部楽理科教育研究助手）

「民族音楽学における映像の活用可能性—韓国の農楽の映像記録の事例を通じて」

10:30～12:00 カムイノミ見学

12:00～13:00 昼食

13:00～14:30 セッション4 司会：深川宏樹（先端人類科学研究部機関研究員）

⑦ 吉本裕子（横浜市立大学大学院都市社会文化研究科客員研究員）

「企画展における映像制作プロセスに立ち現れる諸問題と展示映像の可能性」

⑧ 矢野原 佑史（京都大学アフリカ地域研究資料センター研究員）

「ミュージック・ビデオの映像人類学—楽曲/映像共同制作を用いた参与観察法により開拓される共有人類学の新地平」

14:30～14:45 コーヒーブレイク

14:45～15:30 総合討論

15:30～17:00 施設見学

15:30～16:10 映像実験室、スタジオ等見学（川瀬 慈、永田貴聖）

16:10～17:00 図書室、4階研究部案内（永田貴聖）

17:00～17:20 アンケート記入

17:20～17:40 講評・表彰・閉会

講評

表彰 須藤健一（国立民族学博物館館長）

閉会挨拶 南 真木人



平成29年度みんなく若手研究者奨励セミナー 「グローバル現象を人類学はどのように捉えるか」

国立民族学博物館では、若手研究者による本研究機関の共同利用を促進するため、「みんなく若手研究者奨励セミナー」を開催しています。平成29年度のセミナーは、グローバル現象に関するテーマを募集します。例えば、移動・環境・ジェンダー・資本・労働・モノ・開発、観光、都市化などのテーマが考えられるでしょう。具体的な事例分析をおこなうとともに、そこからグローバル現象の人類学的研究を議論・再考することを目的とします。また、発表と議論の内容をふまえ、最も優秀な発表者にみんなくセミナー賞を授与します。

日時：2017年12月7日（木）～8日（金）

場所：国立民族学博物館 第4セミナー室（2階）

プログラム

12月7日（木）

開会挨拶 10：00～10：15 吉田憲司（国立民族学博物館・館長）

趣旨説明 10：15～10：30 河合洋尚（国立民族学博物館・准教授）

教員による問題提起 司会：河合洋尚（国立民族学博物館・准教授）

① 10：30～11：10 信田敏宏（国立民族学博物館・教授／部長）
「グローバル支援の人類学」

② 11：20～12：00 三島禎子（国立民族学博物館・准教授）
「現象の現在と過去——アフリカ系商人の移動と文化」

◇セッション① 司会：永田貴聖（国立民族学博物館・機関研究員）

13：00～13：45 難波 美芸（一橋大学）

「友好橋を渡るヒトとモノのそれほどグローバルではない移動 ラオス首都ヴィエンチャンの新中間層の生活世界と消費文化」

13：45～14：30 川邊 咲子（金沢大学）

「近代化・グローバル化以降の社会における生活財の象徴的機能とレジリエンス的機能：フィリピン・イフガオ州にみられる生活財の収集・保存活動の考察より」

14:30～15:15 サクマ シャルゲイ（総合研究大学院大学）

「サハリンからの永住帰国者とその家族の高齢者世代のメディア利用とコミュニケーション」

◇セッション② 司会：左地亮子（国立民族学博物館・機関研究員）

15:30～16:15 アルタンバガナ（千葉大学）

「グローバル化と中国の多民族的な文芸戦略——馬頭琴芸術家のチ・ボラクの国際実践を事例として」

16:15～17:00 雷 婷（東京大学）

「選ばれる芸術観——上海・金山農民画の事例から見るローカル芸術の変容」

17:00～17:45 後藤 真実（英国エクセター大学）

「フェイスマスクを介して表現される女性のアイデンティティ——現代南西部イランの事例から」

12月8日（金）

◇セッション③ 司会：八木百合子（国立民族学博物館・機関研究員）

10:00～10:45 額田 有美（大阪大学大学院）

「コスタリカにおける『先住民』概念の享受と活用」

10:45～11:30 西山 文愛（総合研究大学院大学）第八発表者（所属）

「ボルネオ先住民社会のキリスト教化による動植物の利用形態と認識体系の変容を探る——サバ州市街地近郊に住むドゥスンの人たちを事例に」

11:30～12:15 棚田 早紀（金沢大学）

「『病』の語りと身体化：インドネシア・ロンボク島における治癒・看護の事例」

◇総合討論・施設案内・講評 司会：河合洋尚（国立民族学博物館・准教授）

13:30～14:30 総合討論

14:30～15:00 若手共同利用制度と施設の紹介

左地亮子（国立民族学博物館・機関研究員）

15:00～16:40 施設見学（15:00～30 図書館見学、15:30～45 研究部案内、15:45～16:40 収蔵庫見学）

16:40～17:00 アンケートの記入

17:00～17:30 講評・表彰 吉田憲司（国立民族学博物館・館長）

閉会挨拶 信田敏宏（国立民族学博物館・教授／部長）

問い合わせ先：国立民族学博物館研究協力課 kyodok@idc.minpaku.ac.jp

* 各発表は45分（プレゼン25分／質疑応答20分）



2018 年 みんな若手研究者奨励セミナー プログラム

時空間を超える知識の共有—タテにつながる、ヨコにつながる—

日時：2018年11月8日（木）、9日（金）

場所：国立民族学博物館 第4セミナー室（2階）

◆◆◆◆◆第1日目：11月8日（木）◆◆◆◆◆

総合司会 八木百合子(国立民族学博物館助教)

- 10：00－10：30** **開会挨拶** 吉田憲司（国立民族学博物館長）
 趣旨説明 園田直子（国立民族学博物館教授）
- 10：30－12：00** **カムイノミ見学**
- 12：00－13：00** 昼食
- 13：00－14：20** **教員による問題提起** 司会：末森薫（国立民族学博物館機関研究員）
 13：00－13：40 丸川雄三（国立民族学博物館准教授）
 「映像・画像資料とデータベース：その実際と可能性」
 13：40－14：20 吉岡乾（国立民族学博物館助教）
 「時空間における言語の広がりをつえ、描く」
- 14：20－14：35** 休憩
- 14：35－16：50** **セッション1** 司会：大澤由実（国立民族学博物館機関研究員）
 14：35－15：20 廣田千恵子（千葉大学）
 「社会主義期モンゴル国における*カザフ*音楽の越境的な形成 —地方ラジオ局所蔵の音楽アーカイブズ「アルタンコル」の活動を中心に」
- 15：20－16：05 神崎隼人（大阪大学）
 「関係的な知識とその共有
 —アマゾンにおける環境 NGO とローカルな人々、そして森林—」
- 16：05－16：50 酒井貴広（早稲田大学）
 「災害情報の再帰性に関する文化人類学的研究：高知市沿岸部の三地区の事例から」

17:05－17:35 共同利用・若手向け諸制度の説明 八木百合子（国立民族学博物館助教）

◆◆◆◆◆第2日目：11月9日（金）◆◆◆◆◆

10:00－12:15 セッション2 司会：古川不可知（国立民族学博物館機関研究員）

10:00－10:45 チャスチャガン（総合研究大学院大学）

「歴史知識をめぐる争奪と和解から見る帰還集団のアイデンティティのありかた
—中国新疆ウイグル自治区に居住するトルグド・モンゴルに着目して—」

10:45－11:30 山崎遼（立命館大学）

「Stanley Robertson の自伝小説 Exodus to Alford に見るスコティッシュ・トラベラー
の自己表象」

11:30－12:15 南部真喜子（東京外国語大学）

「英雄像のエスノグラフィー—現代パレスチナ社会における投獄体験と囚人の表象—」

12:15－13:15 昼食

13:15－14:45 セッション3 司会：神野知恵（国立民族学博物館機関研究員）

13:15－14:00 八木風輝（総合研究大学院大学）

「社会主義期モンゴル国における音楽の越境的な形成
—地方ラジオ局所蔵の音楽アーカイブズ「アルタンコル」の活動を中心に—」

14:00－14:45 稲葉あや香（東京大学）

「人の国際移動のアーカイブス化：
日系人コミュニティウェブサイト「ディスカバー・ニッケイ」を事例に」

14:45－15:00 休憩

15:00－16:00 総合討論 司会：川瀬慈（国立民族学博物館准教授）

16:00－17:15 施設見学

収蔵庫、図書室

17:15－17:35 表彰 吉田憲司

閉会挨拶 園田直子

2019 年 みんな若手研究者奨励セミナー
プログラム

ゆらぐマジョリティ／マイノリティ

日時：2019年11月28日（木）・29日（金）

場所：国立民族学博物館 第4セミナー室（本館2F）

◆◆◆◆◆第1日目：11月28日（木）◆◆◆◆◆

総合司会 末森薫(国立民族学博物館機関研究員)

10:00-10:30 開会挨拶 吉田憲司（国立民族学博物館長）

趣旨説明 林勲男（国立民族学博物館教授）

10:30-12:00 カムイノミ見学

12:00-13:00 昼食

13:00-14:20 教員による問題提起 司会：末森薫（国立民族学博物館機関研究員）

13:00-13:40 菅瀬晶子（国立民族学博物館准教授）

「マイノリティがつくるアイデンティティ

：イスラエル・ガリラヤ地方のアラブ人キリスト教徒の事例から」

13:40-14:20 奈良雅史（国立民族学博物館准教授）

「エスニシティの変容とゆらぐマジョリティ／マイノリティの境界

：中国雲南省における回族の事例から」

14:20-14:35 休憩

14:35-16:50 セッション1 司会：神野知恵（国立民族学博物館機関研究員）

14:35-15:20 鈴木麻菜美（国立音楽大学）

「移動したマイノリティ

ーオーストリアのアレヴィーとその宗教的自文化表現の事例から」

15:20-16:05 新津厚子（東京大学博士課程満期退学）

「夢みる壁画：米国カリフォルニアにおけるチカーノ壁画の事例から」

16:05-16:50 石原真衣（北海道大学）

「〈マイノリティ／マジョリティ〉という問題領域(プロブレマティーク)

ー「サイレントアイヌ」の窓から問うー」

17:05－17:35 共同利用・若手向け諸制度の説明 古川不可知（国立民族学博物館機関研究員）

◆◆◆◆◆第2日目：11月29日（金）◆◆◆◆◆

10:00－12:15 セッション2 司会：古川不可知（国立民族学博物館機関研究員）

10:00－10:45 鶴田星子（京都大学）

「マイノリティとして生きる

—インドの異宗教間結婚にみる信仰の多様性と周縁性—」

10:45－11:30 中村友香（京都大学）

「現代ネパールにおける社会的包摂と疾病—先住民タルーの鎌状赤血球症の事例—」

11:30－12:15 深海菊絵（一橋大学）

「マジョリティ／マイノリティの交渉と境界攪乱：米国ポリアモリーを事例として」

12:15－13:15 昼食

13:15－14:45 セッション3 司会：大澤由実（国立民族学博物館機関研究員）

13:15－14:00 李眞恵（京都大学）

「現代カザフスタンにおけるマイノリティ社会の変容

—高麗人（コリョ・サラム）社会を事例に—」

14:00－14:45 吉村竜（首都大学東京）

「秩序と規律をめぐる日系人の葛藤

—ブラジル南東部の日系人の自他意識の変化を事例に—」

14:45－15:00 休憩

15:00－16:00 総合討論 司会：松尾瑞穂（国立民族学博物館准教授）

16:00－17:15 施設見学

収蔵庫、図書室

17:15－17:35 表彰 吉田憲司

閉会挨拶 林勲男

16:20-17:05 蔡松倫（京都大学）「少数民族における災害後の復興プロセスと生活環境調整について」
コメント：鈴木紀（国立民族学博物館教授）

◆◆◆◆◆第2日目：11月26日（木）◆◆◆◆◆

10:00-12:15 セッション3 司会：金悠進

10:00-10:45 北川真紀（東京大学）「複数種の配置と生の再編—北陸・大野盆地におけるツキノワグマの市街地出没とその対応策から」

コメント：池谷和信（国立民族学博物館教授）

10:45-10:50 換気・消毒

10:50-11:35 木部未帆子（東京大学）「少数民族の危機と移住—ラオス山岳部の農村における集落統合後の土地利用と生存戦略の民族間差—」
コメント：飯田卓

11:35-13:00 昼食・展示見学

13:15-14:45 セッション4 司会：上畑史

13:00-13:45 莊司一歩（国立民族学博物館）「危機に抗わないという生き方—ペルー北海岸の環境変動にみる先史漁撈民の資源利用戦略—」

コメント：齋藤晃（国立民族学博物館教授）

13:45-13:50 換気・消毒

13:50-14:35 中野真備（京都大学）「地震とダイナマイト—サンゴ礁破壊をめぐるインドネシア・バンガイ諸島のサマ人のジレンマ—」

コメント：小野林太郎（国立民族学博物館准教授）

14:35-14:50 休憩

14:50-15:50 総合討論「人類の知と技を問いなおす」

司会：上羽陽子（国立民族学博物館准教授）

15:50-15:55 換気・消毒

15:55-16:20 若手共同利用の諸制度と民博の施設

神野知恵（国立民族学博物館機関研究員）

16:20-17:15 施設見学（収蔵庫、図書室） 上畑史

17:15-17:35 表彰 吉田憲司

閉会挨拶 飯田卓

2021 年度 みんなく若手研究者奨励セミナー
プログラム

モビリティを再考する
人びとの実践、調査者の実践

日時：2021 年 11 月 24 日（水）・25 日（木）

場所：国立民族学博物館 第 4 セミナー室（本館 2 階）

* 各発表は 45 分（発表 30 分／質疑応答 15 分）

◆◆◆◆◆第 1 日目：11 月 24 日（水）◆◆◆◆◆

総合司会 金悠進（国立民族学博物館機関研究員）

- 10：00－10：30 開会挨拶 吉田憲司（国立民族学博物館長）
趣旨説明 丹羽典生（国立民族学博物館准教授）
- 10：30－12：00 特別展「ユニバーサル・ミュージアム ― さわる！“触”の大博覧会」見学 解説：広瀬浩二郎（国立民族学博物館准教授）
- 12：00－13：00 昼食
- 13：00－13：30 教員による問題提起 三尾稔（国立民族学博物館教授）
「モビリティと地域へのまなざし——『南アジア地域研究』の事例を中心に」
- 13：30－13：45 休憩
- 13：45－15：20 セッション1 司会：相島葉月（国立民族学博物館准教授）
13：45－14：30 李定恩（立命館大学）「「ホーム」に留まるフィリピン人若者たちの「トランスナショナル」な移動——知識集約型サービス業のグローバル化と新たな労働力の再編の視点から」
- 14：30－14：35 換気・消毒
- 14：35－15：20 朴苑善（大阪大学）「タイ国における移民の主体的な教育の選択——タイ国北部チェンマイ県におけるタイヤイ移民第 1.5 世代および第 2 世代の高等教育への進学に着目して」
- 15：20－15：30 休憩

15：30－17：05 セッション2 司会：中川理（国立民族学博物館准教授）

15：30－16：15 天野佑紀（京都大学）「19世紀のサハラ北西部におけるキャラヴァンと植民地権力——フランス支配下のスーフ商人に注目して」

16：15－16：20 換気・消毒

16：20－17：05 村橋勲（東京外国語大学）「移動するホーム——故郷と難民キャンプにおける場所のつながり」

◆◆◆◆◆第2日目：11月25日（木）◆◆◆◆◆

10：00－11：35 セッション3 司会：鈴木英明（国立民族学博物館准教授）

10：00－10：45 松井梓（京都大学）「空間の隙間を動いて関係を調整する——モザンビーク島の近所づきあいの親密さと緊張、その解消」

10：45－10：50 換気・消毒

10：50－11：35 山崎暢子（京都大学）「ウガンダ北部ウェスト・ナイルにおける新たな生計手段の模索——労働移住と交通網に着目して」

11：35－13：00 昼食・展示見学

13：00－14：35 セッション4 司会：丹羽典生

13：00－13：45 張詩雋（国立民族学博物館）「移動が照射する現代チベット——タンカ絵師が旅する歴史と現在」

13：45－13：50 換気・消毒

13：50－14：35 石内良季（京都大学）「国王が行くーブータン国王による行幸とその変容ー」

14：35－14：50 休憩

14：50－15：50 総合討論「モビリティを問いなおす」 司会：丹羽典生

15：50－15：55 換気・消毒

15：55－16：20 若手共同利用の諸制度と民博の施設 金悠進

16：20－17：15 施設見学（収蔵庫、図書室）上畑史（国立民族学博物館機関研究員）

17：15－17：35 表彰 吉田憲司

閉会挨拶 三尾稔

2022 年度 みんな若手研究者奨励セミナー
プログラム

オンライン時代の民族を考える
アーカイブ・現地・インターネット空間へのアプローチ

日時：2022 年 11 月 16 日（水）・17 日（木）

場所：国立民族学博物館 第 4 セミナー室（本館 2 階）

* 各発表は 45 分（発表 30 分／質疑応答 15 分）

◆◆◆◆◆ 第 1 日目：11 月 16 日（水） ◆◆◆◆◆

総合司会 金悠進（国立民族学博物館機関研究員）

- 10：00－10：30 開会挨拶 吉田憲司（国立民族学博物館長）
発表者自己紹介
趣旨説明 野林厚志（国立民族学博物館教授）
- 10：30－11：50 カムイノミ見学
- 12：00－13：00 昼食
- 13：00－13：30 企画展「海のくらしアート展——モノからみる東南アジアとオセアニア」
見学 小野林太郎（国立民族学博物館准教授）
- 13：40－14：00 教員による問題提起 野林厚志「オンライン時代の民族を考える」
- 14：10－16：45 セッション 1 司会：松本文子（国立民族学博物館機関研究員）
14：10－14：55 皆木香渚子（京都大学）
「デジタル時代における持続可能な生業戦略の解明
ーベトナム・メコンデルタのエビ養殖者による情報交換を事例にー」
コメンテーター：飯田卓（国立民族学博物館教授）
- 14：55－15：00 換気・消毒
- 15：00－15：45 池山草馬（株式会社ヒトノハ）
「仮想世界のエスノグラフィーはいかにして可能か
——VRChat におけるアバター実践の事例から——」
コメンテーター：広瀬浩二郎（国立民族学博物館准教授）
- 15：45－16：00 休憩・換気・消毒
- 16：00－16：45 今村宏之（国立民族学博物館）
「アーカイブは自文化理解に変容を迫るかーオンライン時代の武術愛好者たち
に見るインドネシアの国民意識と民族のとらえ方ー」
コメンテーター：島村一平（国立民族学博物館准教授）

◆◆◆◆◆第2日目：11月17日（木）◆◆◆◆◆

10：00－11：35 セッション2 司会：金悠進

10：00－10：45 浅田直規（筑波大学）

「民族＝分析概念」という捉え方と調査方法に関する考察」

コメンテーター：森明子（国立民族学博物館教授）

10：45－10：50 換気・消毒

10：50－11：35 池邊智基（京都大学）

「SNS空間におけるウォロフ語と「民族」の再創造」

コメンテーター：三島禎子（国立民族学博物館准教授）

11：35－13：00 特別展「Homō loquēns「しゃべるヒト」

～ことばの不思議を科学する～」見学

昼食

13：00－14：35 セッション3 司会：松本文子

13：00－13：45 土井冬樹（神戸大学）

「オンライン空間を構成する文化的規範：

新型コロナウイルス期における日本在住マオリの勉強会を事例に」

コメンテーター：岸上伸啓（国立民族学博物館教授）

13：45－13：50 換気・消毒

13：50－14：35 二重作和代（京都大学）

「多民族地域で文化を再創造する

ーインドネシア地方社会にみる民族寛容性と同胞意識の形成・共有ー」

コメンテーター：小野林太郎

14：35－14：50 休憩

14：50－15：50 総合討論「オンライン時代の民族」

司会：寺村裕史（国立民族学博物館准教授）

15：50－15：55 換気・消毒

15：55－16：20 若手共同利用の諸制度と民博の施設 金悠進

16：20－17：15 施設見学（収蔵庫、図書室） 松本文子

17：15－17：35 表彰 岸上伸啓（国立民族学博物館副館長）

閉会挨拶 野林厚志

17：45－18：15 意見交換会

2023 年度 みんなく若手研究者奨励セミナー
プログラム

コミュニケーションの多様性
「つながり」「へだたり」「かかわり」のフィールドから

日時：2023 年 11 月 30 日（木）・12 月 1 日（金）

場所：国立民族学博物館 第 4 セミナー室（本館 2 階）

* 各発表は 50 分（発表 30 分／質疑応答 20 分）

◆◆◆◆◆第 1 日目：11 月 30 日（木）◆◆◆◆◆

総合司会 松本文子（国立民族学博物館機関研究員）

10：00－10：30 開会挨拶 吉田憲司（国立民族学博物館長）

発表者自己紹介

趣旨説明 宮前知佐子（国立民族学博物館助教）

10：30－11：50 カムイノミ見学

12：00－13：00 昼食

13：00－13：25 教員による問題提起 1 広瀬浩二郎（国立民族学博物館教授）

13：25－13：50 教員による問題提起 2 市野進一郎（国立民族学博物館特任助教）

13：50－16：35 セッション 1 司会：古沢ゆりあ（国立民族学博物館機関研究員）

13：50－14：40 吉田佳右（大阪大学）

「家」で暮らす高齢者と専門家とのかかわりあい

～ホームホスピスにおける「持てる力」の探求～

コメンテーター：平野智佳子（国立民族学博物館助教）

14：40－14：55 休憩

14：55－15：45 平安名萌恵（立命館大学）

「ひとり」生きる：

沖縄のシングルマザーの親族ネットワークに着目して」

コメンテーター：岡田恵美（国立民族学博物館准教授）

15：45－16：35 田村優（新潟大学）

「別れの作られ方

モザンビーク・ロムウェ母系制社会における離婚訴訟から」

コメンテーター：園田直子（国立民族学博物館教授）

◆◆◆◆◆第2日目：12月1日（金）◆◆◆◆◆

10：00－11：40 セッション2 司会：松本文子

10：00－10：50 佐野文哉（人間文化研究機構）

「時空間に分散する記号：

フィジーのろう者の手話コミュニケーションの事例から」

コメンテーター：吉岡乾（国立民族学博物館准教授）

10：50－11：40 東風ゆば（筑波大学）

「ノイズキャンセリングイヤホンの着用が生み出すつながりとへだたり

－日本の発達障害当事者女性たちが集うグループを事例として」

コメンテーター：菊澤律子（国立民族学博物館教授）

11：40－13：00 特別展「交感する神と人－ヒンドゥー神像の世界」見学

昼食

13：00－14：40 セッション3 司会：古沢ゆりあ

13：00－13：50 築地夏海（京都大学）

「異種間関係における「距離感」の形成

－京都市動物園におけるアジアゾウ飼育を事例として」

コメンテーター：末森薫（国立民族学博物館准教授）

13：50－14：40 愛葉由依（広島大学）

「歩くことと戦争の記憶の継承」

コメンテーター：丸川雄三（国立民族学博物館准教授）

14：40－14：50 休憩

14：50－15：50 総合討論「コミュニケーションの多様性」

司会：宮前知佐子

15：50－16：10 若手共同利用の諸制度と民博の施設 松本文子

16：10－16：20 休憩

16：20－17：10 施設見学（収蔵庫、図書室） 古沢ゆりあ

17：10－17：30 表彰 吉田憲司

閉会挨拶 園田直子

17：40－18：10 意見交換会